

## 検査・測定と評価 II

科目ナンバリング SPS-308  
選択 2単位

佐保 泰明

### 1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーに必要な検査・測定・評価の理論、スポーツ基本動作のバイオメカニクスとその動作を評価する視点を学ぶ。また、基本的な静的・動的アライメント、各部位のアライメント、関節可動域測定、徒手筋力検査、筋タイトネス、スペシャルテストを実施できるようにする。

### 2. 授業の到達目標

- ・ アスレティックトレーナーに必要な検査・測定・評価を説明できる。
- ・ スポーツ基本動作をバイオメカニクスの視点から説明でき、評価することができる。
- ・ 静的・動的アライメント、各部位のアライメント、関節可動域測定、徒手筋力検査、筋タイトネス、スペシャルテストを実施できる。

### 3. 成績評価の方法および基準

小テスト30%、筆記試験70%で評価する。

### 4. 教科書・参考文献

教科書

日本体育協会公認アスレティックトレーナーテキスト⑤検査・測定と評価

参考文献

新・徒手筋力検査法 原著第9版

Starkey C, Brown SD. Examination of orthopedic and athletic injuries. 4th ed. FA Davis Company

Prentice WE. Principles of athletic training: a guide to evidence-based clinical practice. 16th ed.

McGraw Hill Education

Magee DJ. Orthopedic physical assessment 6th ed. Elsevier Saunders

### 5. 準備学修の内容

次回の授業で行う検査・測定・評価項目について提示するのでレポートにまとめること。

### 6. その他履修上の注意事項

検査・測定と評価 I、バイオメカニクス I・II、アスレックリハビリテーション概論を履修していることが望ましい。

### 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・オリエンテーション  
アスレティックトレーナーに必要な評価について学ぶ
- 【第2回】 姿勢・アライメント評価について学ぶ
- 【第3回】 部位別アライメント評価について学ぶ
- 【第4回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(上肢・体幹)
- 【第5回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(下肢)
- 【第6回】 徒手筋力検査法について学ぶ(上肢・体幹)
- 【第7回】 徒手筋力検査法について学ぶ(下肢)
- 【第8回】 タイトネスと関節弛緩について学ぶ
- 【第9回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(歩行・走行)
- 【第10回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(方向転換動作・跳動作)
- 【第11回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(投動作・あたり動作)
- 【第12回】 動作とスポーツ外傷・障害の関連について学ぶ
- 【第13回】 special Test(上肢)
- 【第14回】 special Test(下肢)
- 【第15回】 まとめと試験